

## 【課題】

- ・自律した学習の成立を目指すし、日本語指導体制の充実を図る。
- ・学校のグローバル化の推進
- ・児童生徒の多言語化への対応
- ・浜松市の外国人指導の中核となる人材を育成し、日本語の指導体制がそれぞれの学校で積み上がるような仕組みの構築を進める。

## 【実施事業の概要】

- ・外国人子供支援協議会の開催
- ・日本語指導体制の充実（持続可能な体制）
- ・教員や支援者に必要とされる知識・技能の習得
- ・ライフコースの視点に沿った支援
- ・成果をHPや研修会等で発信

## 共生社会の一員として自立した社会人へと成長させる

日常的なトピックについて理解し、学級活動に参加できることを目指した日本語指導体制の充実

## 「特別的教育課程」による指導を充実させるために

- 日本語指導ができる外国人児童生徒等教科指導員の配置増
- 複数校派遣型教科指導員の派遣
- 巡回指導教員の少数校巡回指導により取り出し指導を実施
- 校内支援体制構築と個別の指導計画立案のための研修
- 日本語と教科の統合学習授業づくり研修（授業研究）

## 集住・散在にかかわらず市内のどの地域の学校に編入しても適時的な指導を行うために

- 初期適応指導動画の活用
- 多言語通訳機の利用

## 指導者の資質・向上を図るために

- 新規日本語加配教員研修（メンター制）  
（外国人児童生徒指導リーダー修了者とのOJT）
- 外国人児童生徒指導リーダー研修
- DLAの実施方法とその結果の活用法研修
- 日本語指導研修（日本語と教科の統合学習 研修）
- 教科指導員研修
- バイリンガル知識・技能向上のための研修会
- リーダー研修修了者を生かす場の設定
- 学校版「やさしい日本語手引き」普及のためのモデル校研修

将来への夢や希望を持たせるための支援

## 日本の学校や進学システムについて児童生徒や保護者の理解を促すために

- バイリンガルによる相談
- 進路について語る会
- ロールモデル派遣
- リモートや多言語通訳機を利用した三者面談
- 就学ガイダンスの実施
- 新学齢プレスクール
- 受け入れのためのリーフレット配布

## 進路選択の幅を広げるために

- 中学生対象の放課後ステップアップクラスの開催  
（地域の人材の活用）
- 中学生のための初期日本語指導拠点校（にじ）の2教室運営補助

「特別的教育課程」による個別の指導目標達成  
《達成率81%》

「特別的教育課程」による指導実施人数の保持

編入した児童生徒への適時的な初期適応指導と日本語基礎指導の実施  
《100%》

リーダー研修を修了し、浜松市の外国人児童生徒等教育の指導的立場になる教員の育成が進んだ。  
（R6修了生4人）

## 【これまでの成果と今後の課題】

日本語と教科の統合学習に関する研修が進んだ。しかし、在籍数等の違いにより、受け入れ体制に学校間格差があるのは否めない。今後多文化共生の視点で学校が子供たちの受け入れを円滑にできる体制づくりに努めたい。また、にじ（初期日本語指導拠点校）と在籍校の学びのつながりを充実させるためさらなる研究を進める